

令和5年度 青果物販売情勢について

令和5年8月30日（水）現在

【 果 樹 】

「もも」

入荷量が日々減少し引き合いが見られるが極晩生種の売り場維持の販売で相場は保合となっている。

単価：特秀 15玉 3,800-3,500円 16玉 3,700-3,400円 18玉 3,400-3,100円

青秀 15玉 3,200-3,000円 16玉 3,200-3,000円 18玉 3,100-2,800円

「ナシ」

関東の先行産地の“豊水”はまとまった入荷となっているが“幸水”の入荷量が少なく引き合いがある。相場については保合。

単価：特秀 28玉 4,500 32玉 4,200-4,000 36玉 3,700-3,500 40玉 3,200-3,000

【 野 菜 】

「きゅうり」

猛暑の影響から絶対量不足で相場はジリ上げとなった。今後、東北産露地物は減少となるが関東抑制作が増量となる。猛暑の影響から抑制作も下位等級品が多いく下物中心に相場を下げ荷動きを止めない販売となる見通し。

単価：5kg A品 2,700-2,400円

「ミニトマト」

関東抑制作の増量を控えているが学校給食需要が見込まれるため相場は上げとなる見通し。

単価：200g パック AM 200-170円

JAふくしま未来
営農経済部園芸課